

※PLACIA…中小企業等へのプラズマ技術の普及を通して、地域の産業振興に貢献するという目的で設立されたセンター

※PLAM…プラズマ技術の産業応用に関心のある企業の方々を会員とする研究会

月刊 PLACIA : 今月の Topics

PLACIA 企業誘致員だよりー野々村元男、浅見悦男ー

1. 機器紹介シリーズ①ー大気圧プラズマ装置 (HU-MAP)
2. 企業対応状況ー技術相談実績ー
3. 今後の予定ー第 16 回 PLAM 開催ー
4. 事務局より

PLACIA 企業誘致員だより

今月は、PLACIA で活躍中の 2 名の企業誘致員に記事を寄せていただきました。

企業誘致員は、PLACIA 利用企業等の誘致活動や PLACIA の情報提供・PR 及び情報収集、PLAM 研究会への加入企業等の募集を行うなど、プラズマ技術の中小企業等への技術移転に関する様々な業務を行っています。

PLACIA について知りたい！という方、プラズマ技術を利用してみたいという方、まずはお気軽に企業誘致員にご相談ください。

企業誘致員～野々村 元男～



最近の活動で特に印象に残ったことは、国の平成 21 年度補正予算である「ものづくり中小企業製品開発等支援補助金」公募(※)についてです。第 1 次募集 (6 月 24 日締切) には 7387 件の応募が殺到し、8 月 7 日に 1655 件の採択が発表されました。そのうち愛知県は 216 件、岐阜県 57 件、三重県 57 件でした。今回の公募事業の特徴は、公募から締め切りまでが短い期間であったにもかかわらず、応募件数が予想の 2000 件をはるかに上回ったことです。

このような応募状況となった背景には、最近の製造業における中小企業の受注量激減という現状が挙げられ、自社が独自の技術を持たなければ今後生き残っていけないという危機感が業界に浸透しているということがあるようです。今回採択された企業は今までも公募事業を行った経験を多く持ち、日ごろから次期経営基盤となる技術開発テーマを推進している様子が伺えます。一方で、多くの中小企業は補助金等の情報を得ることなく、応募方法すら分からないという現状もあります。

今後は中小企業がそれぞれの技術力を高めるためにも、より多くの方々に PLAM へ入会していただき、双方向で情報交換しながら企業間の連携の輪を広げていきたいと考えています。そのためには我々企業誘致員の一層の努力は勿論、もし皆様の関係する取引先や関係者の中に PLAM に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非お声を掛けてくださいますようお願い申し上げます。

※…ものづくり中小企業者が特定ものづくり基盤技術を活用して行う試作品開発と販路開拓に要する経費を補助するという事業。



PLACIA としての最終目標は産業応用分野にプラズマ技術を波及させる事になりますが、その前段階として地域企業の皆様にプラズマ技術を認知していただきたいと思っております。そのためには皆様にプラズマ技術の産業応用への現状や将来展望を知っていただくことが第一歩になると考えています。

PLACIA にはプラズマに関するどのような機器やそれに付随する評価装置があるか、またどんなテストができるのかということをお知らせするのも我々の仕事です。そしてこれらのプラズマ技術が企業ニーズに合致すれば PLACIA

でのトライアルや解析・評価の実施となり、さらに共同研究を立ち上げるということもできます。現在プラズマ技術の導入を検討されていなくても、プラズマ技術とはどのようなものかということを知っていただきたいと思います。

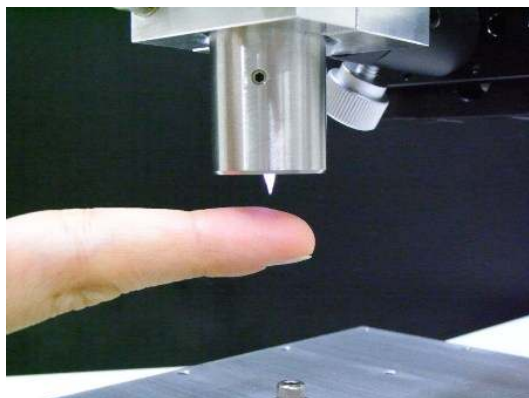
我々は企業誘致員として、人と人の繋がりを大切にしています。PLAM 講演会にご出席の企業はもとより講演会に一度もご出席いただいていない企業にもお邪魔して、プラズマ技術の現状や産業応用等の話、PLACIA でのテスト方法等をお話させていただき、また PLACIA に無い装置であれば、持っている施設等に連絡を取り、打ち合わせが出来るように手配をいたします。

当センターテクニカルコーディネーター等と情報を密にして企業の皆様のお役に立てるよう頑張っています。訪問の依頼はメールや電話で行っておりますが、「我が社には不要」と即断されることなく、是非話を聞いていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

1. 機器紹介シリーズ①ー大気圧プラズマ装置 (HU-MAP)

月刊 PLACIA では今月より PLACIA で稼働中の機器を当センターコーディネーターが詳しく紹介、解説します。それぞれの機器の特徴や用途を知っていただき、プラズマ技術の「ものづくり」への応用の可能性を感じてくだされば幸いです。第1回は「堀式超マイクロホロー大気圧プラズマ装置（超高密度室温大気圧プラズマ装置）：HU-MAP」です。

大気圧プラズマは、減圧プラズマと比較し、高価な真空容器や排気装置が必要なく、真空排気や大気開放の工程も省くことができ、かつ高密度なプラズマにより高速処理や溶液や生体など水分を含んだものへの処理も可能です。PLACIA が保有する大気圧プラズマは、第I期知的クラスター創成事業で名古屋大学堀教授らが創成した“堀式超マイクロホロー大気圧プラズマ装置（超高密度室温大気圧プラズマ装置）：HU-MAP”です。このプラズマ装置は、従来の大気圧プラズマよりもプラズマ密度が1桁から2桁高く、かつ室温での処理が可能です。



電源も家庭用コンセントを使用することができるため、簡便に使うことができ、安価です。現在 PLACIA で使用できるガスはアルゴン、窒素、圧縮空気と各種ガスに酸素添加することができます。このほかにも用途によってご相談いただければ検討いたします。これまでの具体的な用途は、基材の洗浄（クリーニング）、酸化・窒化・還元、滅菌・殺菌・除菌や、親水化（水に濡れやすくする）・疎水化（水に濡れにくくする）などです。試しに処理してみようと思われましたら、条件や評価法を相談させていただきますので、お問い合わせください。次号は「ナノカーボン膜製造装置」を予定しています。お楽しみに！

2. 企業対応状況－技術相談実績－

7月にPLACIAにおいて技術相談が14件、機器利用が7件、8月には技術相談が20件、機器利用が15件（共に延べ数）行われました。技術相談分野・機器利用の内訳については図1及び図2をご参照ください。

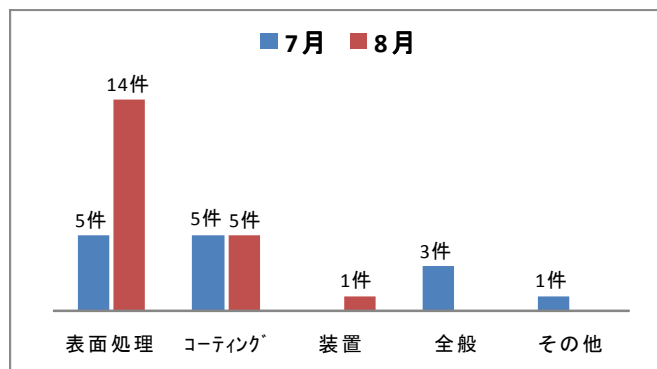


図1：技術相談分野内訳

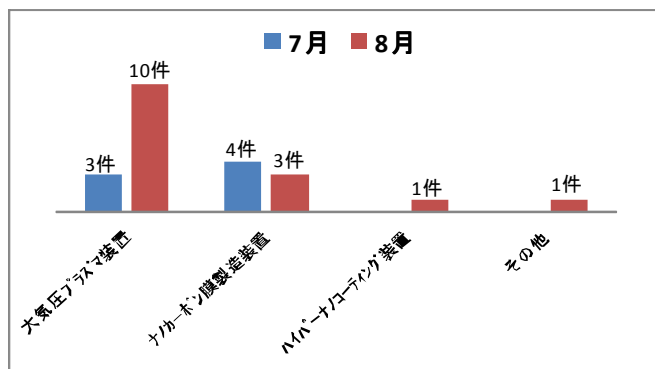


図2：機器利用内訳

PLACIAではコーディネーターがプラズマ技術に関する相談及び機器利用のお手伝いを行っておりますので、お気軽にご相談ください。

3. 今後の予定

●第16回プラズマが拓くものづくり研究会「プラズマ技術講演会」参加募集受付中！

詳しくはPLACIAホームページ‘新着情報’をご参照ください。参加無料です。

<http://www.u-net.city.nagoya.jp/placia/index.html>

テーマ：低摩擦化による耐摩耗性の向上

日時：平成21年10月1日（木）

会場：サイエンス交流プラザ大会議室

講師：①名古屋大学大学院工学研究科 上坂裕之氏

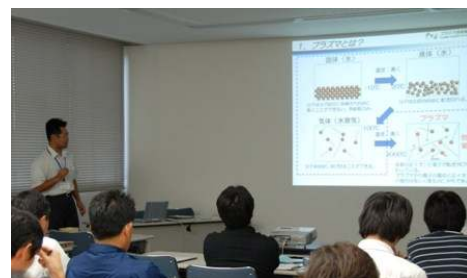
②株式会社デンソー 菅原博好氏



4. 事務局より

●プラズマイブニングセミナー（団体向けミニプラズマ講座）を開催しました！

8月20日（木）に、名鍍会20社27名の方にご参加いただき、イブニングセミナーを開催しました。内容は、プラズマの基礎講座と実習（洗浄・窒化）です。仕事が終わった午後6時にお越しいただき、午後8時まで行いました。PLACIAではこのように、15名～30名の各種団体向けセミナーにご対応いたします。内容・詳細については事務局までご相談ください。



●PLAM 入会案内

プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）では会員を随時募集しております。プラズマに興味のある方ならどなたでもご入会いただけます。会費は無料です。入会を希望される方は氏名・会社名・連絡先をご記入の上、FAXまたはE-Mailでお申し込み下さい。詳細情報についてはHPでも公開しております。

〈PLAM 入会申込連絡先〉 FAX:052-739-0682/E-Mail: plasma@u-net.city.nagoya.jp

HP: <http://www.u-net.city.nagoya.jp/placia/index.html>

平成21年9月15日発行 編集・発行：プラズマ技術産業応用センター（PLACIA）

〒463-0003 名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2268-1

お問い合わせ：tel.052-739-0680 fax.052-739-0682 e-mail: placia@u-net.city.nagoya.jp